



コロナ感染予防・熱中症予防へのご協力ありがとうございます

山形市が対象区域になっていた「まん延防止等重点措置」が解除されたところですが、学校では、これまでと同様、コロナ感染予防対策を行っているところです。加えて、熱中症予防対策も行い、子どもたちが安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、見届けている毎日です。

外遊びでは、暑さ指数をもとに、短時間で遊ぶようにしたり、暑さ指数が高い場合は、遊びを中止し教室で過ごしたりするよう呼びかけています。また、外遊びや体育の授業の前後、下校の前には、水分補給を行う時間をとるようにしています。今後も、学校とご家庭と連携して、コロナ感染予防、熱中症予防を行ってまいりたいと思いますので、引き続きご協力をお願いいたします。

「よいことみつけ」について

南小では、各学級で「よいことみつけ」を行っています。仲間や先生から、仲間の行いに対して「すてきな。」「すごいな。」「うれしかったよ。」「ありがとう。」など思ったことを書いて掲示したり、帰りの会で紹介したりしています。

南小は、1年生から6年生まで、ほぼ同じ仲間と過ごします。固定された学級の中では、仲間の見方が偏りがちになります。どの子にも、その子がもっているよさがありますが、時には、そのよさが見えなくなってしまうこともあります。この「よいことみつけ」を通して、これまで気付かなかった仲間のよさを発見し、お互いのよさを認め、お互いを大切に思う心を育てていきたいと思っています。「よいことみつけ」は、その一つの手段ではありますが、仲間や先生、家族から認められ、褒められることで子どもたちは自信をもつことができ、自己肯定感を高めることにつながります。



「よいこと」は、いろいろな場にあります。「掃除を隅々まで丁寧に行っていた」「一緒に遊ぼうと声をかけた」「分からなくて困っていた時に教えてくれた」「階段に落ちていたごみを拾っていた」「仕事を手伝ってくれた」などなど…。子どもたちの日常の中にある、「よいこと」を学級だけでなく、学校に広め、見える形にしていきたいと考えています。そこで、

7月5日(月)～7月16日(金)を「よいことみつけ週間」として、学校全体に広げて取り組みます。ご家庭でも、ぜひ、お子さんの「よいこと」を認め、たくさん褒めてあげてください。

学級、学校には様々な考えの子どもたちが集まっていますから、当然、意見がぶつかり合うこともあります。育ってきた環境も違うので、考え方も違います。そんな時、どうしたらよいのかを考えることが、これから大人になり、社会に出ていくための大切な勉強だと思っています。学級、学校は、小さな社会であり、良好な人間関係作りを学ぶ場でもあると考えています。自分と意見が合わない仲間がいるのは当たり前です。自分の思い通りにならないことも当然あります。意見がぶつかったとき、どうやって折り合いをつけていくのか、お互いが納得するためにはどうするとよいのかを考え、その時の最適な答えを出していくことが求められます。私たちは、子どもたちが最適な答えを出せるよう、一緒に考え、時には、見守り、支えていきたいと思っています。

